



癖になりそう!?魅惑のBC日帰り2本

## 北信 佐渡山・五地蔵山

スキー組の古野さん、坂村さんと車・ベースキャンプを共有するコラボ山行で北信へ向った。

### 1月27日(土) :曇り時々雪

初めて歩く山域はワクワクする。初日はスキー組と同じ佐渡山へ向う。山スキーヤーにはお馴染みの場所とのことだが、歩きに来る人はあまりいないらしい。事前の天気予報は思わしくなかったが、当日は小雪がちらつくものの穏やかだった。大橋からの出発はスキー組とほぼ同時だったが、スキーのお二人にはあつという間に引き離された。おかげさまでトレースを使い楽させて頂いた。緩やかな南尾根から山頂に着くと、東面へ下降する準備中のスキー組の姿が見えたので、言葉を交わして来た道を下山した。比較的短めのルートだが、翌日の五地蔵山が長そうなので、足慣らしには丁度良かった。駐車場に戻ると程なくスキー組も到着。車からすぐのベースキャンプは、何でも持ち込めるし、近くの店から補充もできるし(無論、田村さんはお酒を)パラダイスだ。非常に寒いと聞いていたので、冬用と3シーズンシュラブを持ち込み、二重にした天国の寝床でホカホカ眠りに着いた。

### 【日程】

2018年01月27日(土)  
~28日(日)

### 【メンバー】

竹澤(L)、田村

### 【地形図】

高妻山

### 【記】竹澤

### 1月28日(日) :快晴

二日目は五地蔵山へ向う。日の出前に古野さんの車で戸隠キャンプ場入口まで送っていただく。そこからスノーシューを履いて、尾根取付きまでは平坦な牧場の中を抜けていく。風は無いが、空気が突き刺さるように冷たい。早く体を温めようと早足で進んだ。大洞沢を渡ってすぐの南東尾根に取付くと尾根越しに明るい太陽が顔を出した。その週の火曜日から雪が降り続いていたとのこと、パウダーラッセルが心配だったが、雪は思ったより深くなく歩きやすい。高度を上げていくと、黒姫山や戸隠山など周辺の山々が間近に迫る。山頂直下の急登を終えのっぺりとした場所に出ると、「五地蔵山」の標識があった。そこから更に北に進んだジャンクションが1,998のピークだ。標識まではトレース無しであったが、それ以降は歩きとスキーのトレースだらけだった。南東尾根については、当初、それなりに時間がかかるかも、と心積もりをしていた。しかし天気は良く、雪質もラッセルに難儀するようなものでは無かったので、順調にルートを完遂することができた。地図上では尾根周辺は険しそうな印象だったが、全体として特に危険を感じる箇所は無く、ロープを出すこともなかった。

下山に使った弥勒尾根は登山道だが、展望が楽しいルートだった。振り返れば高妻山、左手には昨日歩いた佐渡山から黒姫山、その奥は妙高山、そして前方にはどっしりとした飯縄山を眺めながら標高を下げていく。牧場に降り立ったら、キャンプ場とは逆の方向へ延びるトレースがあった。それを辿ると、渡渉することも無くすんなり大橋の駐車場へ繋がる林道に出た。駐車場には古野さんと坂村さんのお二人が見えた。お二人も丁度、黒姫山から帰着したところとのこと。何というタイミング。お二人の声援を浴びながら、無事ゴールを果たした。

帰りは戸隠博士の坂村さんの案内で、温泉と蕎麦を楽しみ、渋滞も無く帰京できた。ベースを張って日帰り2本、というのは雪山歩きではそれほど行われていないスタイルのような気がする(少なくとも私の場合)。極楽BC山行の味を教えて下さった古野さんと坂村さん、そしてラッセル隊長の田村さんに感謝。

【行程】

1/27 戸隠大橋(8:45)～南尾根～佐渡山(11:50)～戸隠大橋(13:30)(BC)

1/28 戸隠キャンプ場(6:30)～南東尾根取付き(7:30)～五地藏山標識(10:50)～弥勒尾根～戸隠牧場(13:00)～戸隠大橋(13:30)



-21℃の戸隠キャンプ場から  
五地藏山へ出発



雪質は歩きやすい



黒姫山



戸隠山に繋がる尾根



ピークから少し南にある標識にて



旅のめはやっぱり